

介護福祉士国家試験パート合格の導入に関する検討会（第1回） 議事概要

- 臼井構成員を本検討会の委員長に選任。
- 議事、議事録及び資料は原則非公開とするが、公開しても国家試験の厳正さの保持に影響が生じないと判断できる資料は公開する。また、各回の議事概要を公開する。
- 令和5年度「介護福祉士国家試験の検証に資するデータ分析に関する検討会」の提言を踏まえ、介護福祉士の質を担保しながら、介護福祉士国家試験にパート合格を導入することに向け、以下の主な論点を提示。
 - ・ 分割パターン
 - 3分割で実施する場合、
 - ①パートごとの分割方法及び科目の並び順について
 - ②試験当日の運営方法及び試験時間について
 - ・ 合格基準
 - パート合格の有効期限について
 - パート合格した科目の再受験時の取扱いについて
- 論点のうち特に「分割パターン」について議論。主な意見は以下のとおり。
 - ・ 分割のパターンは、試験運営や科目のまとまりを考慮し3分割が良いのではないか。
 - ・ 分割する科目は、科目群を同一にするなど受験者の学習状況に配慮した内容にした方が良いのではないか。
 - ・ 分割方法について、「介護過程」と「総合問題」をCパートとすると合計20問で他のパートより設問が少なくなるが、必要な知識や技術を前提として、それを具体的な援助場面に適用させるパートと整理できるのではないか。
 - ・ 当日の運営方法及び試験時間についても、3分割を前提として示されている現在の案で進めれば良いのではないか。
- 今後のスケジュール
 - ・ 次回は7月上旬を予定。関係団体へのヒアリングと論点について議論を行う。
 - ・ 検討会の議論の状況を見て夏から秋にかけてとりまとめの議論を行う。